感染症発生状況

令和7年6月18日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年6月9日（月）～6月13日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 272名 【職員】 14名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 54名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（126名）、咳・鼻水（71名）、下痢・腹痛（21名）、充血（目やに）（13名）

疾病別：伝染性紅斑（リンゴ病）（42名）、突発性発疹症（14名）、溶連菌感染症（4名）、
流行性角結膜炎（2名）

【職員】 症状別：充血（目やに）（5名）、咳・鼻水（1名）、下痢・腹痛（1名）

疾病別：なし

**伝染性紅斑（リンゴ病）の流行が続いています。
合併症に紫斑病、貧血等などがまれにあります。
顔色不良、紫斑にご注意ください。**

【疾病別の発生状況】

伝染性紅斑（リンゴ病） 河北地区、河南地区で増加しました。盛南地区で減少しました。

突発性発疹症 玉山地区、河北地区、盛南地区、都南地区で増加しました。

溶連菌感染症 河北地区、河南地区で増加しました。

流行性角結膜炎 都南地区で増加しました。河北地区で減少しました。

【県の状況（6/2～6/8）】

侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。

百日咳が97例報告され、2018年以降最多となりました。報告数の増加が続いており、注意が必要です。年齢別では10代が54例と最も多く、次いで5～9歳が26例となっています。かぜ様の症状と激しい咳が特徴です。1歳未満の場合は重症化や死亡のリスクがあるため、接種対象年齢に達した小児に対し、ワクチンを接種することが望まれます。手洗いや咳エチケット等の感染予防対策も忘れずに行いましょう。

伝染性紅斑（リンゴ病）は減少し、定点当たり患者数は1.78人となりました。奥州、二戸、県央地区で報告が多くなっています。伝染性紅斑は小児を中心にみられる感染症です。微熱や咳等かぜ様症状がみられた後、両頬に境界明瞭な紅斑、四肢伸側にはレース状の紅斑が現れます。飛沫感染や接触感染しますが、紅斑出現時には感染力はほとんどありません。しかし、流行時期にはこまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】